

## 市議会からの要望事項

平成24年度予算を議決するに当たり、市長に対して13件の要望を行いました。

- 1 住宅新築助成金交付事業について**

定住促進と人口増とが期待される所であるが、事業の効果等について、あらゆる角度から再度検証すること。
- 2 魅力あるまちづくり事業について**

魅力あるまちづくり交付金の交付対象となる活動の範囲、交付申請手続、実績報告の方法等について、まちづくり協議会に対し、分かりやすく周知すること。
- 3 選挙に関する啓発、周知について**

投票時間の繰上げについては、早期に広報を徹底するなどにより、有権者への周知を図ること。
- 4 標高表示プレート設置事業について**

地域住民だけでなく、当該地域外からの来訪者にとっても視認しやすいものとなるように、設置する施設や設置箇所の工夫をすること。
- 5 通称「平和の広場」の設置場所及び維持管理について**

金崎にある、通称「平和の広場」は、本市における世界の恒久平和を希求するシンボルとなっており、その存在意義は大きい。しかし、市民が目にする必要があるとはいえず、交通量が多く危険な場所にある。目立つ場所だけに、草木が伸びるなど日常的な維持管理も大変気になる。関係団体とも協議の上、設置場所の見直しや年間の維持管理方法など、目的に照らした環境の整備に努めること。
- 6 福祉事業の委託及び事業情報の提供について**

児童・生徒、高齢者や障害児・者を対象とした事業の重要性はますます高まり、継続性も求められてきている。委託先における事業実施とその成果や効果、支出された経費の状態など、業務委託から完了までを十分に把握し、責任をもって委託先の指導に努めること。また、国・県・市及び民間団体等の補助事業の情報は、NPO法人を初め、事業実施が可能な団体に対して広く周知すること。
- 7 委託金額の妥当性の検証について**

特に電算システム関連予算については、高額にもかかわらず、その金額の妥当性の正確な評価は難しい。委託の内容、金額の決定においては、他市の状況や専門知識のある者の意見などを参考に、妥当性を十分に検証すること。
- 8 治山維持補修事業について**

伐倒林の管理や処分の方法を検討して、適正な治山維持補修に努めること。
- 9 水産業総務事業について**

漁業経営の後継者を育成するため、継続的な育成事業を進めること。
- 10 漁港改修事業について**

港湾改修事業等で事前の地元調整を密に行い、事業がスムーズに行えるように配慮すること。
- 11 商工業振興事業について**

商店街のイベント事業を一過性のものでなく、平日の集客につながるよう努めること。
- 12 観光事業について**

飛島などの離島文化財について、資料・展示品を充実させ、文化財の保護と共に情報発信に努めること。
- 13 道路橋梁総務事業について**

防犯灯設置・交換の管理区分の実態調査を行い、明確な管理基準を作り、維持管理に努めること。